

草の根技術協力（草の根パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	マラウイ国
2. 案件名	地域コミュニティによる持続可能な保健栄養グループ活動強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	マラウイでは 2 歳未満の発育障害児が 4 割弱と高水準にある。住民により組織されたケアグループの自立発展を促すことで、現地保健従事者の負担を増やすことなく、住民が実習や学び合いを通じて栄養改善の機会を享受できる社会基盤の形成を目指す。
4. プロジェクト目標	事業対象地域内の 8 ヘルスポストにおいて、HSA（保健ワーカー）などの、フロントラインワーカーと呼ばれるフィールドで住民と直接関わるオフィサーたちと、住民とが主体となり、妊婦・母子を対象とした住民参加型の栄養改善活動（ケアグループの自立的活動）のモデルが構築される。
5. 対象地域	ムジンバ県南部 3 ヘルスセンター(カテテ、チカンガワ、エンディンデニ)管轄地域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	3 ヘルスセンター所属 HSA 計 28 名を含むフロントラインワーカー ケアグループのプロモーター計 32 名、クラスターリーダー計 402 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> - C/P（県）、ヘルスセンター（地域）、ヘルスポスト（村）、ケアグループ（住民）の各階層で、保健担当者ならびに地域指導者と活動の実施について合意される。 - 活動対象地域ヘルスセンター所属 HSA ら、対象となるフロントラインワーカーの 80%以上が、乳幼児健診会場での活動を実施するために本事業が開催する研修に参加する。 - パイロット村ヘルスポストの 80%以上において、毎月開催される成長モニタリングの場で、栄養改善に資する食物の(1)栽培方法と(2)調理方法、(3)子どもの成長記録、(4)他地域の事例の 4 点が参加者へ情報提供される。 - パイロット村ヘルスポストを管轄するヘルスセンター職員によって、ヘルスポスト単位での活動の進捗や課題が報告される。 - 事業対象地域内でのケアグループ活動実施状況が毎月モニタリングされる。また、それぞれのヘルスポストで月 1 回以上、活動状況について情報発信される。 3 ヘルスセンター下、計 8 ヘルスポスト以上で、希望するグループが、住民の自己負担により菜園・新規レシピ調理実習などのグループ活動が事業終了時まで継続する。 - 活動対象地域の住民がケアグループ活動に参加したことで、食物多様性(MDD)が不十分な 2 歳未満児が、全体の半数以下まで減少している。 - C/P のマネジメントレベルやヘルスセンター職員が、住民の栄養状態について認

	知し課題を理解しており、ヘルスポストでの活動（グッドプラクティス等）を把握している。 b) HSA ら、フロントラインワーカー向けの活動ガイドラインが整備され、それを活用して事業対象外地域でグッドプラクティスの模倣が開始されている。 <活動> 1. 地方行政レベルでの「ケアグループ自立」に必要となる基盤整備 2. HSA ら、フロントラインワーカーによるヘルスポストでの「ケアグループ自立」を促す活動の強化 3. 地域コミュニティレベルでの、自立したケアグループ活動とその効果の確認 4. 地方行政レベルでの「ケアグループ自立」活動のモデル化ならびに広域展開のための体制づくり
8. 実施期間	（西暦）2025 年 4 月～2028 年 4 月（3 年 0 ヶ月）
9. 事業費概算額	93889 千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	ンベルワ県庁 ムジンバ県南部保健局
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	社会医療法人 雪の聖母会
2. 主な活動内容	病院、診療所、ならびに介護老人保健施設の運営を通じ、科学的でかつ適正な医療および要介護者に対する看護、医学的管理下の介護および必要な医療等を普及すること、また、カトリックの愛の精神に基づき療養の適切な指導、保健活動および国際保健医療協力を行うことを理念とする。